



NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人 長崎青年協会

社団法人
長崎青年協会憲章

我々は会員の団結と

相互扶助の精神の基に

自己の建設と

会員の親睦を図り

もって地域社会の発展に

寄与する事を目的とする

スローガン 『スクラム!』



熱く「長崎の未来」を語られる伊藤市長

— 今月の行事予定 —

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 5日(水) 理事会 | 17日(月) 理事会 |
| 21日(金) 臨時総会(ブリックホール) | 23日(日) 新人事業(予備日3月2日) |
| 3月5日(水) 理事会 | |
| 8・9日(土・日) 親睦旅行(雲仙) | |

— 今月度事務局清掃担当委員会 —

研修開発委員会

— 今月の二次懇親会担当委員会 —

研修開発委員会

～出欠の返事は確実にしよう～



● 1 月度定時例会 ●



会長挨拶

新しい年を迎え早一ヶ月余りが過ぎました。この間にも、日本国内においてまた世界各国で様々な出来事がおこっています。刻々と過ぎ行く時の流れを節に感じる今日この頃です。当地、長崎におきましても惜しくも戦後初の三連覇は逃したものの、県立国見高校サッカー部の輝かしい功績には、県民のみならず全国の方々が、日々の精進、継続する事の力に感銘を受けたことと思います。

これからの益々の活躍に期待したいものです。

さて我々(社)長崎青年協会も本年4月より35年目の節目のスタートとなります。まだまだ寒い日が続いていますが、春に向けて、スタート地点を目指して会員各人の思いをよせて、次年度前田会長と共に歩むべき準備をしていきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願ひします。

平成14年度も後2ヶ月となりました。最後まで内部事業にそして地域の事業に対して協会らしく頑張っていきたいと思います。

◀ 講師講演 ▶

～ 演題「地方の時代、長崎の未来」～ 伊藤一長 長崎市長

いまや新春の恒例行事か? 1月例会における長崎の行政のトップを招いての講師講演。伊藤一長長崎市長には一昨年に続き2度目の登場を願いました。当日会場の入口付近に設置していた「長崎港と稲佐山の模型」に目を留められ(狙い通り!)「懐かしいね…これは君たちの先輩(注・新ヶ江OBのこと)が市役所に持ってきたんだ。」と感慨深げ。市長は折に触れ「協会の若い発想で提案をしてください」とよく言われるが、実はこの模型にその原点があるようだ。

近況報告に続き、演題に沿って平成17年新春、2年後に迫った市町村合併の現在の動きを説明。それに呼応するかたちで、近未来の長崎のハード面の構想を披露。斜面の街をマイナスに考えるのではなく、むしろ生かしていこう、海外に目を向けるとたくさんのお手本があるじゃないかと。むろん長崎ならではの発想やソフト面の充実も同時に欠かせないと指摘された。実際の例をあげると、日本初の斜行エレベーターや9人乗りジャンボタクシー、ほかにコミュニティバスなど。

後半部分の質疑応答。時期が時期だけに硬い雰囲気は否めず。しかし寺本副会長の「横綱貴乃花の引退をどう思われましたか?」との質問に場は和み(ありがとう!寺本君)以後はいつものにこやかな伊藤市長と知性的な青年協会のメンバーによる勉強会であった。

例をあげると…「交通アクセス充実の結果、却って福岡商圏への若者の経済的流失が加速されないか?もし市長に対策があれば…」(堀田君)「平成18年春女神大橋完成。その他の取り付け道路もほぼ同時に出来る。つまり3年後の長崎は、今とは大きく様変わりする。実はご指摘の懸念はほとんど持っていない。というか、取られた分はのしを付けて返してもらおう。そのために魅力ある長崎を作っていこう。それには若い人たち、君たちの力が不可欠」(市長)「長崎に対する提案などはどういった手順を踏めば可能か」(野鳥君)「例えば宛名親展の手紙だったら私に直接届く。協会名での提案であれば尚良いが…」(市長)…などなど。



伊藤一長 長崎市長 現在2期目、57歳

「ほっとけば原稿無しで何時間でもしゃべる」という市長。しかし15分刻みで動いている公人の身、当然ながらそうもいかない。しかし親しみやすいお人柄は充分伝わったし、ひいては行政に対しても身近な思いをいだけたのは収穫だった。ともかく19時25分から20時45分まで「80分間市長一長」さんを堪能したひとときでありました。

◀ 例会の様相 ▶



あれ？会長だけ○ですか？

松島君より12月に行われた野球の試合、対J C戦の結果報告が有り、次年度の野球同好会の部員募集も熱く語られていた。その後休憩に入り休憩後講師講演に入った。(前述)

講師講演終了後再び例会に戻り、片岡義勝君の司会の下誕生者祝いが有り今年度総務例会委員会の目玉企画、大クイズ大会が行われた。今回は協会に関するクイズ大会で最終3名に勝ち残った、田川会長・寺本副会長・野島直前会長が素晴らしい景品をGETしていた。よろこびで楽しんだ後、協会の歌を歌い円陣を組み例会は終了した。

1月21日(火)事務局において1月度定時例会が行われました。今回の講師講演は伊藤一長長崎市長と言う事で総務例会委員会が念には念を入れた準備が功を奏し、例会スタート時の7時には事務局内が熱気溢れる程の人数が集まった。

山田君の司会の下まず最初に会長挨拶が有り、役員報告・委員会報告・同好会報告と流れていった。委員会報告の中では研修開発委員会より2月に行われる新人事業の説明が有り「2月臨時総会時に熱血をします」と心強い意気込みが伝わってきた。また新人の宮崎高舟君の紹介も行われた。同好会報告においては監督の



いつもと違った雰囲気ですね

出席率(1月度)

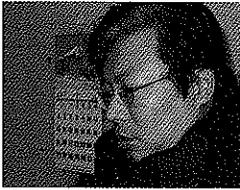
役員・監事		総務例会		広 報		研修開発		交 流		地域社会		合 計	
9/10	90%	6/9	66%	5/11	45%	5/10	50%	5/13	38%	5/11	45%	35/64	54%

◀ 二次懇親会の様相 ▶

伊藤長崎市長の講演の余韻を残しながら舞台は《ウヰズビル地階「長崎屋」》へと移った。野島直前会長の乾杯の音頭でスタートした二次懇親会は27名の参加で、早くも講演についての意見や感想・次年度の構想・そして青年協会とは、いつものように火傷しそうな情熱が「あっ」という間の瞬間を過ごせた。締めは1月15日の理事会で入会が承認され、この日が初めての参加であった宮崎高舟君により一本締めにて終了。そして、また新たな「行きつけの店」の誕生の瞬間でもあった。



初の「長崎屋」での二次親睦会、これからも宜しく！

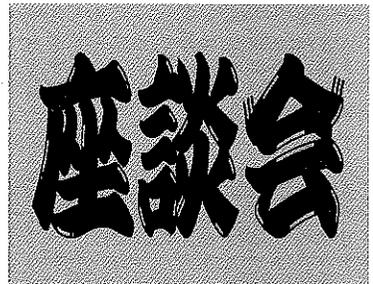


《卒業生》

寺本 正弘 (てらもと まさひろ)
 昭和37年9月17日生 (O型)
 平成4年6月入会
 10年度 総務例会 (30周年担当)
 11年度 特別事業副委員長
 12年度 会員交流委員長
 13年度 事業室理事
 今年度 副会長
 株式会社セレモニ-長崎勤務
 星取町・妻と子供1人の3人家族

仁 藤: 入会のきっかけはどういう経緯ですか?
 寺 本: 会社の上司 (大門OB) から当時の会員のお店に連れて行かれての紹介で結局、事務局に連れてこられたっさ。
 井 手: とある業者会で偶然、猿渡OBと出会い、とにかく時間を作ってくれと言われ事務局に連れてこられたとやもんね。
 阿比留: 7年程前の「おくんち広場」で複数のOBに誘われ、いつしか面接日が決まっとったとばい。
 田 川: 行きつけの店のマスター (当時の会員) から誘われ、広報紙ば見せられてね、興味のできて面接ば受けたとよ。
 仁 藤: 入会したことで得たもの、失ったものはありましたか?
 井 手: 入会しなかったら出会えない人と出会えたことや経験できないことが経験できたことかな。失ったものはお金だね。でもその反面、お金で買えないものはあったよ。
 阿比留: 自分よりも年下の人が一生懸命に頑張っている姿が「自分も頑張らんば」という気持ちに気づかせてくれたことかな。失ったものはなかったということにしとこう。
 寺 本: そいがあるけど言いたくないな、心の中に止めておきたかよ。飲んだときは「ぼろっ」と出るかも知れんけどな。
 一 同: ハハハ・・・
 田 川: 得たものはやはり「出会い」と「経験」やね。委員会等を通

じて、飲みに行ったときに人間性を見ることができたことがプラスになったね。
 寺 本: 学生時代のなあな特別な付き合いでなく、会社の規律ばかりの付き合いではない特別な付き合いができたことかな。
 阿比留: ところで井手君は新人会員から後輩と思われて、「ジュースば買って来い」って、バシリばさせられよったろうハハハ・・・
 一 同: (大笑)
 井 手: オイは覚えとらんばい。
 仁 藤: 一番印象に残っている事業は何ですか?
 寺 本: 自分が委員長をした時の家族懇親会の地引き網をしたことかな。自画自賛だけどうやっったばい。天気も回復してあれは奇跡やったね。
 阿比留: 「おくんち広場」で食品ブースの責任者になったことかな。それとランタン事業の稲佐山警備でナベを囲んだことかな。
 寺 本: 阿比留君は確か最後のターザンばした委員長やっつたろ。
 井 手: 事業系の委員会が続いたことが、前年度広報委員長をしたときに「その大変さ」を理解した上で取材できたことかな。
 田 川: 「おくんち広場」はもちろんのこと、「ふうせんパレー」の事業を通じてどう対応したらいいのか解らなかつたのが、時間はかかったが対応できるようになったことかな。
 阿比留: 30周年事業もやっぱり印象に残っとるね。
 仁 藤: ぶっちゃけた話し、辞めようと思ったことありますか?
 一 同: そりゃあるさ〜っ!
 寺 本: でも辞めずに頑張ってきて卒業を迎える訳ですよ。いやで辞めようとは思わなかつたね。仕事の都合で出席できないことが「皆に申し訳ないなあ」と思い辞めようと思ったことはあるけど、しかし協会が好き、皆が好き、支えて行きたいという気持ちで頑張れた。



《卒業生》

阿比留正治 (あびる まさはる)
 昭和37年6月3日生 (O型)
 平成8年11月入会 (14年2月再入会)
 10年度 地域事業 (30周年担当)
 11年度 特別事業委員長
 12年度 特別事業
 13年度 研修開発
 今年度 交流
 有限会社あびる 酒店経営
 銅座町に在住 独身

井 手: 僕は退会届を出したとよ。結局半年の休会になったけどな。
 仁 藤: 理由は?
 井 手: とにかくお金がかかり過ぎる。会費以外に飲み代がすごい。でも職場の関係で事務局の前をよく通ることもあり、届を出した後に3階の窓から呼び止められ、説得されたことも何かの縁なのかと思いついた感じばい。
 仁 藤: そんな中、田川君は直前会長として次年度も残られますが。
 田 川: 僕もあるよ。まさにバイオリズムのように周期的に出てくるね。それが健全だと思ふよ。やはり仕事とのバランスもあるし、なんとなく嫌気がでてくることもあったからね。しかし1年1年委員会が変わるから新たな気持ちに切り換えることもできるし、気の合う仲間と一緒になれば頑張れる人間関係があるのかなという感じだね。それと、あと1年の残留については、卒業までのカウントダウンをしだす2〜3年前から会長に就任すれば後1年の残留というのは苦痛だった。しかし今は後1年の残留も関係ないね。
 仁 藤: では、一度退会して、再び入会された阿比留君のお考えは?

阿比留：ある会員との約束を守るために再入会したとよ。それは副会長をサポートする約束だったんで・・・あっ、だれのことだかバレちゃうね。

仁藤：入会したことで周りに影響を与えたり受けたりしたことはありますか？

寺本：一つだけ言えるのは「長崎」に対して関心を持つようになったことかな。「長崎」を通して行事や市政や文化財などに興味がでてきたね。いろんな著名人や老人、子供、障害者の方々と出会いが自分の視野を広げたね。

田川：商店街を外側から違った角度で見ることができたことかな。今年度の熱血“ゴミ拾い”の教えに対して意識するようになったよ。

阿比留：入会して「ペーロン」や「飛帆」を体験してこんないいものがあったんだなあと改めて「長崎」を知ったことばい。

仁藤：今後の協会や後輩に伝えたいこと。

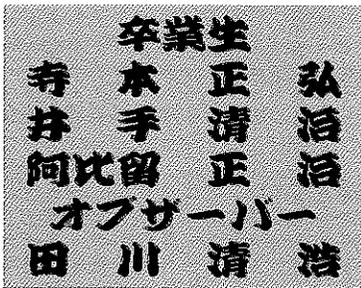
阿比留：1年間のなかで、何か1事業を一生懸命にやってみようと思うよ。終わりの達成感が協会の発展に繋がると思うよ。

井手：委員長は絶対にやるべきだと思うよ。副委員長を受けた人は人間的にも大きくなって欲しいよ。副委員長を受けた人は徹底的に委員長をサポートして欲しいよ。



《卒業生》

井手 清治 (いで せいじ)
昭和37年12月23日生 (A B型)
平成8年2月入会
10年度 地域活性 (上期休会)
11年度 地域事業
12年度 地域社会
13年度 広報委員長
今年度 監事
有限会社山幸 (やまこう) 勤務
扇町に在住 独身



寺本：自分が一生懸命にやろうとすると、苦勞するよ。多くの事業に参加して楽しんで、勉強して社会人としても頑張ってください。

田川：僕はあと1年あるから直前会長としてのスタンスで見たいと思っています。自分の周りをよく見てください。人に優しくなってください。そして声を掛け合ってください。あなたのその一声が勇気を呼び起こすことだってあるんですよ。

寺本：「できない言い訳」を考えるのではなく、「どうすればできるのか」を考えて下さい。

阿比留：理事会のやり方も変えないと駄目なんじゃない、人の揚げ足を取るのではなく、アドバイスをするのが理事会じゃないの。

寺本：でもね。委員会の準備不足もあるとよ。

阿比留：しかし、大人の会議じゃないよね。もっと会議のやり方を勉強しなさい。

井手：早く終わらせる方がいいとは思わないが、長くすればいいとも言えないね。

田川：でもそれって勉強にもなるけど、言わなくてもいいことや、理事会で聞かなくてもいいことを聞いたりと確かに無駄なやりとりも多いですね。

寺本：でもそういう人は本当に勉強になってるよ。人の何倍も。

阿比留：そういつた改善点も次年度は田川君が直前会長なんで、そのスタンスから上手に調整してもらえれば、スムーズに進行するんじゃないかな。

仁藤：では、最後の質問です。あなたにとって青年協会とは何でしたか？

寺本：《愛》かな。

寺本：でも、人に優しくはなったね。相手の気持ちを考えるようになったね。家族や後輩に対して、普通、年をかさねれば段々と友達や人脈は少なくなってくるけど、ここじゃ増えたね。

井手：風変わりな団体に属して、様々な人間模様を見て来たけど、結局落ち着ける場所だったかもしれない。

田川：青春の15~6ページかな、本当にいろんな角度から物事を見れるようになったね。

阿比留：やっぱり優しさを覚えたね。若いころは自分さえよければそれでよかったのが40歳になって今は自分の経験で学んだことを伝えたいなあと思いたしたんよ。



《オブザーバー》

田川 清浩 (たがわ きよひろ)
昭和37年6月22日生 (A型)
昭和62年4月入会
10年度 研修開発副委員長
11年度 地域事業
12年度 副会長
13年度 21世紀ビジョン推進室理事
今年度 会長
次年度は直前会長として残留 (15年度卒業)
有限会社宝将レストランメイジヤ店長
浜町・妻と子供2人の4人家族

皆それぞれのキャラクターでそれぞれの協会活動に携わってこれ、様々な想いがあるでしょう。協会での経験をこれからの人生にどう生かしていくかは皆さん次第です。これから卒業生として、また新たな人との出会いを求めて頑張ってください。
“40歳からの顔は自分の責任”ということをお忘れずに・・・。
平成15年3月24日は卒業式です。

新人事業のお願い

会員の皆様、こんにちは。今年度の新人事業のリーダーにいつの間にか任命されていた井上です。名ばかりのリーダーですので室長や研修開発委員の方々、そして同じ新人のみなさんの足を引っ張ってはかりでしたが、ようやくここまでこぎつける事が出来ました。思えば長い道のりでした。理事会にも出席しましたし、頻繁に行われる委員会も休みませんでした(当たり前?)。新人が一丸となって成功させたい一心で頑張り続けた今回のゲートボール大会、多数の参加を期待しております。まだまだ未熟な我々ですのでもたらない点は多々あると思います。厳しい指摘や暖かい励ましを頂ければ幸いです(ただし、当日出席された方限定)。今後の協会活動の『糧』とさせていただきます。ゲートボールは全員「初心者」の筈です。先輩後輩新人が関係なく同じ土俵に立って、正々堂々と勝負しましょう。やってみればきっと面白いと思いますよ。この経験が30年後のあなたの役に必ず立ちます。この機会に一度、お試しあれ。



少しずつ準備してまいりましたゲートボール新人事業開催もあと少しと成りました。

これまで自分達で企画する事の難しさ、など準備での過程経過を体験出来た事も一つの事業だと思いました。

ともあれ皆様が「一日楽しかったなあ」と思えるよう当日は頑張りたいと思います。(廣島康弘)



私はゲートボールも楽しみではありますが、皆さんに食べていただく「特製スペシャル雑炊」を作りあげるのも楽しみのひとつであります。寒風吹きさすお会場で心も体も温めてさしあげましょう!

屋外で思い切り体を動かし、そしてほっぺが落ちるほど美味しい料理を堪能して下さい。

何度も言いますが、「特製スペシャル雑炊」ですよ〜! (瀬戸口政純)



10月に入会し、いくつかの事業を経験してきましたが、今回初めて事業を行う立場になります。なにぶん新人ですので分からない点ばかりです。特に今回は長崎市ゲートボール協会様の御協力を仰ぎます。

多人数となりますので、参加者全員のまとまりが必要となります。隅々まで心配りが出来てるかどうか不安です。

会員の皆様の手助けを期待しておりますのでよろしくね。(井上雅之)



青年協会に入会させて頂いて初めての事業と言う事もあり、解らない事ばかりで先輩会員の皆様に指導してもらいながら着々と準備が整ってきています。私は、会場設営を担当させて頂きます。皆様に楽しんで頂ける様に一生懸命頑張ります。(谷川英幸)



青年協会にこの度入会をした宮崎です。今回、新人事業をさせていただくことになりましたが、正直私は入ったばかりで計画等をたてる段階ではまだ入会しておらず、実際にどういう風に事業をすればいいかわかりませんでしたが、今回ゲートボールをすると聞きまして楽しみになりました。

普段なかなかしようと思っできるスポーツじゃないので興味を持ち、また体を動かすのは嫌いじゃないからなんとかやれるかなと思い始めております。

当日は不慣れでご迷惑をお掛けするかもしれませんが皆様、どうぞご指導の程宜しくお願い致します。

(宮崎高舟)

～ アルバムのページ ～



久々の事務局での例会



今月も「ファイト！」
「オーッ！」



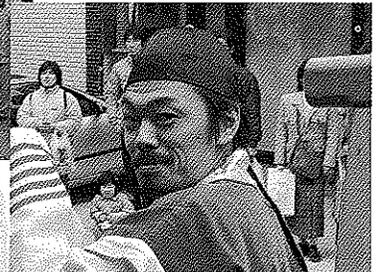
二次懇親会別席



マリア園クリスマス
パーティー出席者です



スタッフとしても頑張ってます



新人の瀬戸口ですよ
頑張ってます



白熱する委員会



媽祖行列はあちらです

クリスマスパーティンマリア園

昨年12月23日、マリア園様よりご招待頂き8名の有志で参加させて頂いた。当日はまたも清々しい天気にも恵まれ、約2時間生徒さんたちの進行で歌・踊り・ピアノの演奏、4本立ての劇等を楽しみ拝見させて頂いた。純粋な瞳は雑念の多い我々の心を再び洗い流した。マリア園に神の御加護がありますように。

最後に、協会より図書券の贈呈をし、又、森事務局員と広瀬夫人より手作りのエプロンとクッキーを寄贈させて頂いたことを付け加えておこう。



寄付金贈呈

去る12月25日、県障害福祉課及び市みどりの課に田川会長・前田企画調整室長両名が「おくんち広場」の御礼、そしてそれぞれに寄付金の贈呈を行った。



ご案内：ランタンの記事、写真は次号(3月号)にて掲載します。

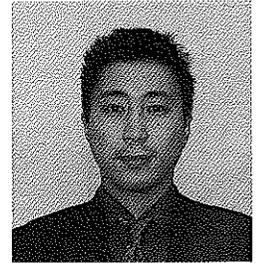
今月の誕生者

- ☆広瀬 健司君 昭和39年 2月24日生 (平成 2年10月入会・在籍13年) 39歳
- ☆三瀬 健司君 昭和43年 2月 9日生 (平成 7年 7月入会・在籍 8年) 35歳
- ☆仁藤 和彦君 昭和39年 2月13日生 (平成 8年 7月入会・在籍 7年) 39歳
- ☆泉 栄吉君 昭和47年 2月 3日生 (平成11年 5月入会・在籍 4年) 31歳
- ☆池田賢太郎君 昭和52年 2月16日生 (平成11年 5月入会・在籍 4年) 26歳
- ☆桂 雄剛君 昭和51年 2月20日生 (平成12年 6月入会・在籍 3年) 27歳
- ☆森永 仁君 昭和52年 2月27日生 (平成12年10月入会・在籍 3年) 26歳
- ☆浅野 光広君 昭和46年 2月 5日生 (平成13年 7月入会・在籍 2年) 32歳
- ☆武田 誠君 昭和47年 2月12日生 (平成14年 3月入会・在籍 1年) 31歳
- ☆宮崎 高舟君 昭和51年 2月 8日生 (平成15年 1月入会・新入会員) 27歳

新人紹介

みやざき たかふね
宮崎 高舟 君

昭和51年 2月 8日生 O型 27歳
 長崎市神ノ島に奥様とお子さんの4人で生活
 仕事：有限会社 地中海 稲佐店（不動産）
 趣味：サーフィン・剣道
 一言：若輩者ですが、かわいがって下さい。
 第一推薦者：田川 清浩君・第二推薦者：宮崎 健太君



NYA精神はいまだ健在 (One for all, all for one.)

昭和63年に卒業された森山茂OB（第19年度会長）が青少年の健全育成の為、学生時代から経験したラグビーを15年程前からボランティアで毎週日曜日に子供達を対象に指導している。技術の向上以前に、横縞のジャージのように「横のつながり」を重視し、健康や健全な精神を育み、「自分を犠牲にしてボールを生かす」、まさに青年協会が掲げるボランティア精神に通ずるスポーツのひとつです。ただ今、会員のお子様・近所のお子様を募集しておりますのでお気軽にお尋ね下さい。

名 称：長崎中央ラグビースクール 場 所：三川ゆうわ会グラウンド（旧マルコ会グラウンド）
 時 間：毎週日曜日 10：00～正午まで 対 象：幼稚園年中・年長から小学生
 連絡先：TEL/FAX 095-822-0892（森山）

3月の行事予定 5日(水) 理事会 8・9日(土・日) 親睦旅行（雲仙）
 14日(金) 理事会 24日(月) 卒業者を送る夕べ（ホテルニュー長崎）
3月度事務局清掃担当委員会 役員・総務例会委員会 **二次懇親会担当委員会** 総務例会委員会

編集後記

この広報誌が皆様の手元に届くころはランタンフェスティバルも終了間際になってることでしよう。今年は中央公園も会場になり、湊公園からアーケードを通り・築町・中央公園という導線が出来たのはいい事だと思う。今後協会がどういった関わり方をしていくのかは分からないが、冬の観光の目玉として認知されたのではないだろうか。

発行 社団法人長崎青年協会 会長・田川清浩 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階
 TEL 095-821-1625 FAX 095-823-7375
 編集 広報委員会委員長・仁藤和彦 副委員長・三瀬健司 福田増幸 広瀬健司 岸本純孝
 福島広之 中尾 仁 桂 雄剛 片岡浩一 橋田徳之 井上雅之
 印刷 昭英印刷有限会社 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231